

平成 23 年度 土木部 2 月補正要求概要

**平成 24 年 2 月 14 日
福島県土木部**

補正予算の概要

- 1 降雪量が平年以上に増加していることを踏まえ、県民の安全・安心の確保を図るため、除雪費の増額を行います。
- 2 復旧・復興事業等に必要な経費の増額を行います。
- 3 予算の確定等に伴う補正を行います。

補正予算の規模

- 平成23年度2月補正 土木部予算
- 一般会計 △147億3,666万円
- 除雪費の増額
 - 復旧・復興事業等の増額
 - 予算確定等に伴う補正

主な事業内容

除雪費の増額

- ・道路の除雪にかかる費用の増額 4億3,379万円 P.1

復旧・復興事業等に必要な経費の増額

- ・木造応急仮設住宅を再利用するための仕組みづくりの検討 7,509万円 P.2
- ・新潟・福島豪雨で被災した土木施設の改良復旧に係る増額 2億7,750万円
- ・国の災害復旧事業等に係る直轄事業負担金の増額 13億4,841万円

予算確定等に伴う補正

- ・予算の確定等に伴う補正 △168億8,650万円

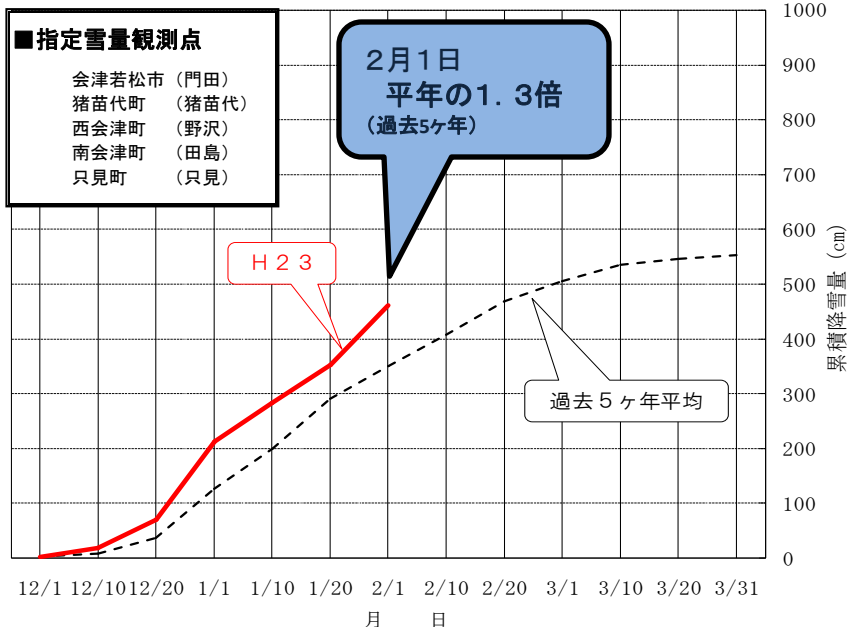
道路の除雪を行い、県民の安全・安心を確保します

補正の目的

会津地方を中心とした今冬の豪雪等に対応し、円滑な通行を確保するため、除雪費の増額補正を行います。

今年度の降雪データ

指定雪量観測点 平均累積降雪量



県内の現況

国道289号 (只見町) H24.2.3



只見町では、2月1日現在、すでに平年の年間降雪量に迫る降雪量となっています。

(主) 喜多方西会津線 (西会津町) H24.2.4



西会津町では、2月1日現在、すでに平年の年間降雪量を超える降雪量となっています。

国道252号 (金山町) H24.1.23



雪を捨てきれなくなった所では、バックホウとトラックによる排雪を行いました。

(主) 原町川俣線 (飯館村) H24.1.22



浜通りの飯館村でも降雪があり、除雪を行いました。

被災者の生活再建に向けた住まいづくりを支援します

事業の背景

本県では約16,000戸の応急仮設住宅が建設されております。
 その中の約6,000戸は県内事業者による木造であり、部材の再利用を図ることが可能です。

事業の概要

木造応急仮設住宅を、その役割が終了した際に、被災者の恒久住宅として再利用するためのしくみを構築します。

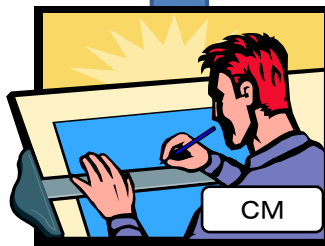
事業の効果

- ① 被災者の住宅再建の経済的負担軽減
- ② 地元住宅関連産業の活性化
- ③ 資材の有効活用（産業廃棄物の削減）

事業のフロー



福島県の木造応急仮設住宅



恒久住宅へ再利用



再利用のしくみを構築する
CM※を選定します。
 ※CMとは、コンストラクション・マネジメントの略で、企画から建築設計、コストダウンまで取り組む企業をいいます。

選定されたCMが、
 再利用するためのしくみを構築します。

【内容】

- ① 仮設住宅を恒久住宅へ再利用するための平面図等の作成
- ② 工事費用の積算
- ③ 建築資材等の安価な調達方法の構築
- ④ 再利用希望者へ提供する手法 など

住宅再建希望者に情報を提供します。

【情報提供内容】

- ① 仮設住宅を再利用した平面図等
- ② 工事費用
- ③ 工事対応できる事業者リスト など